

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2026/8/17 ~ 2026/8/23

発 令 警 報 ／ 中 の 注 意 報	県 全 体	〈警報〉	手足口病	〈注意報〉	なし
		警 報	中 部 保 健 所 ： 手足口病 南 部 保 健 所 ： 手足口病		
		注 意 報	中 部 保 健 所 ： なし		

百日咳（ひやくにちぜき）にご注意ください！

中部保健所から、百日咳についてのお知らせです。百日咳は特有のけいれん性の咳を特徴とする急性の気道感染症です。特に乳幼児が感染すると重症化しやすく、命に関わることもあります。正しい知識を身につけ、感染予防に努めましょう。

感染経路

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による感染症で、感染者の咳やくしゃみで飛び散るしぶきを吸い込む飛沫感染が主な感染経路です。家庭、学校、職場など人が集まる場所で広がりやすく、乳幼児がいる家庭では周囲の大人やきょうだいが感染源にならないよう注意が必要です。また、手指を介した伝播も起こり得るため、咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

潜伏期間と症状

感染してから症状が出るまでの潜伏期間は通常7～10日です。はじめは鼻水や軽い咳など風邪に似た症状（カタル期：約2週間）で、この時期が最も感染力が強いとされています。続いて、短い咳が連続し、最後に息を吸うときにヒューッという音が出るなどの発作的な強い咳（痙咳期：約2～3週間）がみられ、夜間に悪化したり、嘔吐を伴うことがあります。乳幼児（特に生後6か月未満）では無呼吸発作など重症化しやすく危険です。回復期には咳は徐々に減りますが、完全に治まるまで数週間～数か月かかることがあります。また、大人は典型的な発作が目立たず長引く咳だけの場合もあり、気づかないまま周囲にうつすことがあるため注意しましょう。

予防方法

百日咳の最も有効な予防はワクチン接種です。日本では主に混合ワクチン（百日咳を含む定期接種）として複数回接種します（詳しい回数・間隔は自治体の案内をご確認ください）。ただし、免疫は時間とともに弱まるため、接種歴があっても小学生以上や大人が感染し、乳幼児へうつすことがあります。感染拡大を防ぐため、咳エチケット（マスク等）、手洗いを徹底し、長引く咳や特徴的な咳がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

④ まとめ

百日咳は予防できる感染症の一つです。特に、まだ免疫がついていない赤ちゃんを重症化から守るためには、社会全体で免疫を持つことが大切です。決められた時期にワクチンをきちんと接種しましょう。

沖縄県は、人の移動や交流が盛んな地域です。観光や帰省などで多くの人が行き交う夏休みや年末年始などは、感染症が広がりやすい時期でもあります。ご自身の健康はもちろん、大切な家族、特に小さな子どもたちを守るために、長引く咳がある場合は「ただの風邪」と軽視せず、マスクの着用や早めの受診を心がけてください。一人ひとりの予防意識が、地域全体の健康を守ることに繋がります。

■ 感染症の発生動向 1 類～5 類（全数把握）

		県全体	うち中部
1 類	なし	0	0
2 類	結核	1	0
3 類	なし	0	0
4 類	A型肝炎	1	0
	レプトスピラ症	1	0
5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0
	梅毒	1	0
	百日咳	1	0

■ 感染症の定点当たり報告数

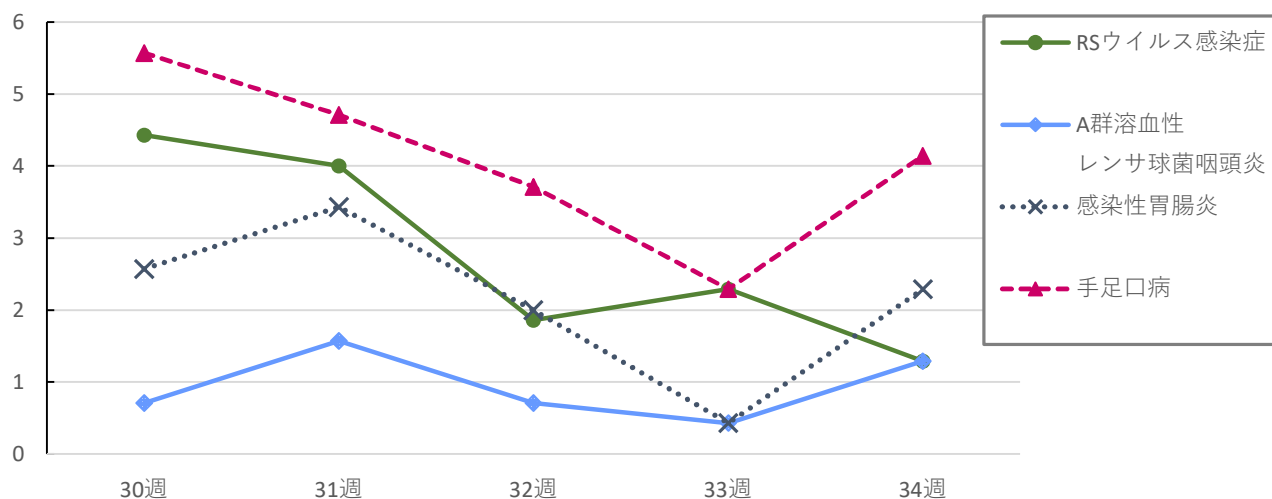
※直近 5 週間で報告された感染症のみ

	30週		31週		32週		33週		34週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	1.46	1.82	1.92	2.2	1.62	2.3	3.08	2.89	3.69	4.43
RSウイルス感染症	4.43	4.21	4	3.54	1.86	2.54	2.29	2.58	1.29	1.63
咽頭結膜熱	0.43	0.33	0	0.38	0.29	0.54	1.14	0.67	0.14	0.46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	0.54	1.57	1.21	0.71	1.13	0.43	0.71	1.29	1.25
感染性胃腸炎	2.57	4.92	3.43	5.5	2	4.5	0.43	4.33	2.29	4.04
水痘	0.29	0.21	0	0.17	0.29	0.13	0	0.13	0.57	0.21
手足口病	5.57	4.79	4.71	4.08	3.71	3.17	2.29	2.04	4.14	2.42
突発性発疹	0.14	0.08	0.86	0.5	0.43	0.29	0.57	0.29	0.86	0.42
ヘルパンギーナ	0.57	1.17	1.14	1.38	0.29	0.29	0.14	0.33	0.71	0.5
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.04	0	0.13	0	0.04	0	0.04
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0.11	0	0
流行性角結膜炎	0.5	2	1	1.44	0	2.22	0.5	2.22	1	2.56
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0	0
無菌性髄膜炎	0	0.43	0	0	0	0	0	0.14	0	0
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0.14	0	0	0	0	0	0
COVID-19	0.62	0.66	0.92	0.86	1	0.7	1.46	1.36	1.38	1.45

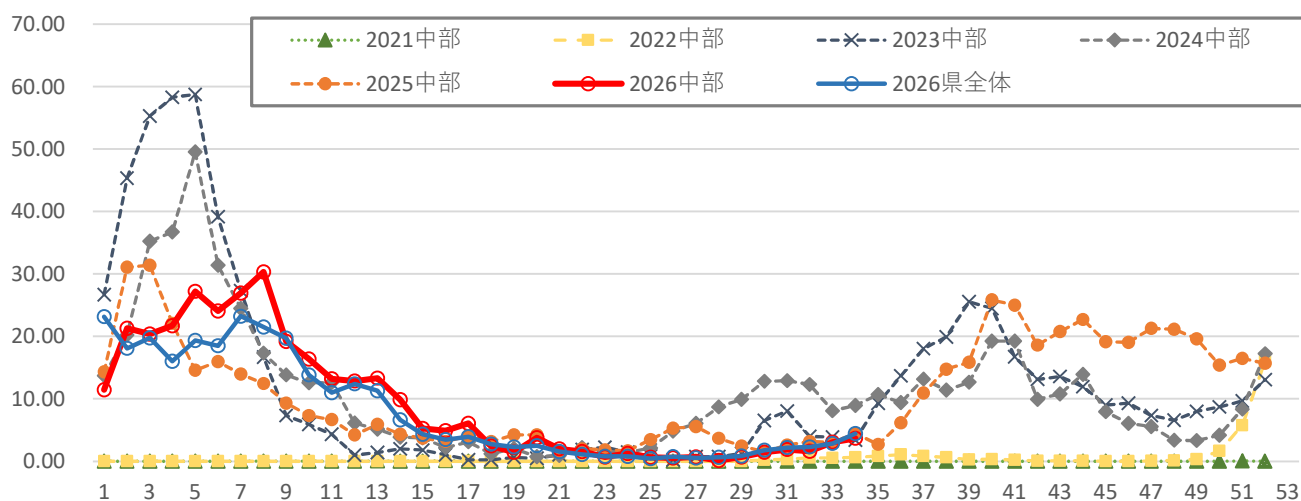
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

